



# 東広会ニュース

## 1月号

2017年(平成29年)

Vol.151

発行所 東京都渋谷区恵比寿南1-5-5  
JR恵比寿ビル10F

東日本鉄道東京広告会  
電話 03(5447)7928  
E-MAIL info@tokokai.jp

## 新春を祝う「賀詞交歓会」開催

新年恒例の東広会主催平成29年「賀詞交歓会」を1月5日(木) 18時から飯田橋のホテルメトロポリタンエドモントで開催した。

交歓会には、東日本旅客鉄道(株)常務取締役事業創造本部長 一ノ瀬俊郎様、同執行役員事業創造本部副本部長 松崎哲士郎様、表輝幸様、(株)ジェイアール東日本企画常務取締役交通媒体本部長 橋本修様、(株)東京メディアサービス代表取締役社長 佐々亨様、公益社団法人日本鉄道広告協会会長 今木甚一郎様はじめ多数のご来賓をお迎えし、総勢約280名の参加者が懇親を深め、新年に相応しい賑わいで盛大な交歓会となった。

会場では、壇上での挨拶に代え一ノ瀬俊郎JR東日本常務取締役、原口宰東広会会長の「新年のごあいさつ」が配られた。(挨拶文掲載)



新春を祝い、乾杯の音頭をとる  
JR東日本 一ノ瀬常務取締役

### 東日本旅客鉄道(株)常務取締役 事業創造本部長 一ノ瀬俊郎様のごあいさつ

新年にあたりまして、年頭のご挨拶を申し上げます。

旧年中は格別の御高配を賜り有難うございました。また、日頃よりJR東日本ならびに弊社交通広告をご利用いただきまして、誠にありがとうございました。心から御礼申し上げます。

昨年の世界情勢は、イギリスにおけるEU離脱の国民投票や、アメリカ大統領選等、世界が大きく変革しようとしております。日本国内は、経済状況は依然厳しいものの、リオオリンピックも終わり、いよいよ2020年に向けての取り組みが本格化すること存じます。

弊社の昨年を振り返りますと、北海道新幹線の開業効果やインバウンド需要の積極的な取り込み等により、鉄道運輸収入は堅調に推移しております。また、JR

新宿ミライナタワー開業、弊社が事業参画したタイでのパープルライン開業など、一つずつ着実に成果が出始めております。

交通広告においては、2016年も引き続き厳しい情勢が続きましたが、今春には山手線E235系の量産車を順次投入し、新しい車内広告の価値を追求することで、今後の交通広告の発展につなげてまいります。

「グループ経営構想V」限りなき前進」を策定し5年目となり、安全・安定輸送のレベルアップ、収益力向上への挑戦を今後の重点取組事項としました。また、2020年に向けて「JR東日本2020 Project」を始動させ、コミュニケーションスローガン「TICKET TO TOMORROW」未来のキップを、すべてのひとへ。」のもと、当社グループが一丸となって質の高いサービスを提供することにより、お客さまのご期待に応え、2020年以降の社会に「レガシー」を引き継ぐべく努力してまいります。

おかげさまで、弊社は今年で会社発足から30年を迎えます。これもひとえに、皆様のご支援の賜物と、深く感謝申し上げます。今後も、本日お集まりいただいている皆様に引き続きご愛顧いただける商品企画や次世代の広告媒体の開発に、なお一層邁進していくことをお誓い申し上げます。本年も皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

皆様のご健康と各社様の益々のご繁栄を心より祈念し、新年のご挨拶とさせていただきます。

東日本鉄道東京広告会会長  
原口 幸あいつつ

2017年の年頭にあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

旧年中は東日本鉄道東京広告会の活動に格別のご高配を賜り、誠にありがとうございました。またJ.R東日本を中心とした交通広告を様々な広告主様にご提案いただくとともに新たな取り組みに対しご理解を賜りましたこと重ねて御礼申し上げます。

昨年の交通広告の状況を振り返りますと、極めて厳しい一年ではありましたが、



中締めをする東広会 原口会長

そのような中、交通広告の新たな価値創造をめざし、関東地区交通媒体社11社局で商品開発・販売に取り組むとともに、デジタルメディア領域の拡充や各種の販売施策の展開に注力いたしました。

具体的には、首都圏における鉄道ネットワークのポテンシャルを最大限にアピールするために、関東地区11社局と共同して初のネットワーク商品「首都圏11社局中づりネットワークセット」を設定し、既存クライアント様の拡大および新規クライアント様の獲得も主眼に置き、交通広告の魅力づくりに努めました。またデジタルメディア領域では、車上ビューコン「山手線チェックイン機能」の商品化と駅ビューコンの商用化を推進しました。さらに主要駅において改札付近など流動の多い場所の壁面、天井、床面などを大型シート広告でジャックできる「スーパースラッピング」を設定・販売し渋谷駅で展開しました。

本年は交通広告業界にとって更なるステージに踏み出す年にするべく、新しい取り組みをご提案し、引き続き他のメディアと競争して、クライアント様にご出稿いただける交通広告の価値向上に全力を挙げてまいります。つきましては、皆様には本年も何卒ご支援、ご協力のほどお願い申し上げます。

皆様のご健勝と各社様の益々のご繁栄を祈念して、新年のご挨拶とさせていただきます。

原宿駅で駅ポスターセットとSP媒体を活用した集中展開を実施

原宿駅の駅ポスターセット「原宿ハーフジャック」とSPメディアの「原宿表参道口ボード」、「集中貼り」を活用した集中展開が実施された。

広告主はエスエス製薬で、解熱鎮痛薬「イブA錠」のPRが行われた。

原宿駅竹下口につながる改札内通路壁面のポスター板20面に連続掲出できる「原宿ハーフジャック」と、原宿表参道口改札横の壁面に大型サイズでの掲出が可能な「原宿表参道口ボード」、原宿表参道口につ



原宿ハーフジャック

ながる改札内通路壁面にB0ポスター12面を連続掲出できる原宿駅「集中貼り」において、1クライアントによる集中展開が行われた。

原宿駅の2つの改札口につながる駅構内通路をジャックした今回の展開は、原宿駅利用者の関心を集めた。

展開期間は「原宿ハーフジャック」「集中貼り」が12月12日(月)から12月25日(日)まで、「原宿表参道口ボード」が12月16日(金)から12月29日(木)まで。



原宿駅集中貼り

# J企「2016年度第3四半期売上」まとまる

J企交通媒体本部の2016年度第3四半期売上は、105億82百万円、対前年101.0%となった。

メディア別では、車両メディアは対前年99.2%で、駅メディアは対前年103.9%となった。2016年4月から12月累計では、303億

30百万円となり、対前年98.4%となった。

■車両メディア（第3四半期実績63億78百万円、対前年99.2%）

『3線群中づり』『3線群まど上』は、大口出稿の減少等により前年度を下回った。

<2016年度 第3四半期 媒体別売上実績>

(単位:百万円)

媒体	第3四半期			4月～12月累計			
	2016年度	前年比	増減	2016年度	前年比	増減	
車両メディア	3線群 中づり	1,115	86.7%	-171	3,246	85.7%	-544
	3線群 まど上	830	92.7%	-66	2,641	88.5%	-344
	ドア横新B	784	87.9%	-108	2,389	82.0%	-524
	ステッカー	702	115.8%	96	1,974	106.5%	120
	東海道/宇都宮・高崎線、 地方線、新幹線 他	323	111.6%	34	869	101.4%	12
	ADトレイン等	256	182.5%	116	742	168.6%	302
	車体広告	112	95.9%	-5	311	67.6%	-149
	トレインチャンネル	2,254	102.4%	54	6,233	109.1%	520
計	6,378	99.2%	-50	18,406	96.8%	-607	
駅メディア	駅ポスター	625	98.2%	-11	1,722	93.2%	-126
	SPメディア	927	124.4%	182	2,259	112.4%	250
	サインボード	1,917	99.0%	-19	5,813	98.8%	-69
	フリーペーパーラック 店舗ラッピング	148	85.7%	-25	472	89.6%	-55
	J・ADビジョン	487	99.8%	-1	1,401	104.7%	62
	デジタルサイネージ	83	159.0%	31	190	132.8%	47
	計	4,187	103.9%	157	11,856	100.9%	109
その他（工事 他）	17	110.6%	2	68	115.6%	9	
総計	10,582	101.0%	109	30,330	98.4%	-489	

「ドア横新B」は、割引販売等により前年度を下回ったが、「ステッカー」は、積極的な販売等により前年度を上回った。

「ADトレイン等」は山手線への出稿が増加したこと等により前年度を上回ったが、「車体広告」は、逆に山手線への出稿が減少したこと等により前年度を下回った。

「トレインチャンネル」は、企画商品の積極的な販売等により前年度を上回った。

■駅メディア（第3四半期実績41億87百万円、対前年103.9%）

「駅ポスター」は、「セット商品」は前年度を上回ったが、「一般ポスター」が前年度を下回り、全体では前年度を下回った。

「SPメディア」は、「SPボード等」「イベント」「集中貼り」「自動改札ステッカー」の全てにおいて前年度を上回った。

「サインボード」は、熱海駅等で新規計画開発を行い、前年度に引き続き「予約販売」等の販売に努めたが、工事支障等の影響により、前年度を下回った。

「J・ADビジョン」は、10月にはNewDaysビジョンの放映が開始され、11月に千葉駅中央改札外に60インチのJ・ADビジョンが7面新設された。

## 「自動改札ステッカー」の展開を実施

山手線16駅において自動改札ステッカー（山手ハーフ）の展開が実施された。

広告主は住友不動産販売株式会社である。

「自動改札ステッカー」は、自動改札機の上部和側部に広告を掲出できるインパクトのあるメディアであり、自動改札機を1クライアントでジャックした今回の展開は、山手線16駅利用者の関心を集めた。展開期間は10月1日（土）から1月20日（金）である。



自動改札ステッカー

**車両メディアの「3線群中づりワイド7days」とSP媒体の新宿駅・渋谷駅「集中貼り」、新宿アルプス広場電照シート」を活用した展開を実施**

車両メディアの「3線群中づりワイド7days」とSP媒体の新宿駅・渋谷駅「集中貼り」、新宿アルプス広場電照シート」を活用した広告展開が実施された。

広告主はキリンビールで、「キリンハードシールド」のPRが行われた。

京浜東北線群・山手線群・中央線群の3線群の各路線に1週間掲出できる「3線群中づりワイド7days」の展開にあわせて、新宿駅・渋谷駅のホームにつながる階段側面に集中的に掲出できる新宿駅・渋谷



3線群中づりワイド7days



渋谷駅集中貼り

駅「集中貼り」、新宿駅アルプス広場において大型サイズで集中掲出できる「新宿アルプス広場電照シート」を活用した広告展開が1クライアントで同時期に行われた。

車両メディアとSPメディアの広告を連動させることにより、電車内や駅構内の階段・通路等様々なシーンでの広告訴求が可能となり、鉄道利用者の動線に沿った連続的な広告展開が行われた。

展開期間は12月12日(月)から12月18日(日)まで。

**「新宿中央通路ハーフジャック+」の展開を実施**

新宿駅のSP媒体「新宿中央通路ハーフジャック+」の展開が実施された。

広告主はシードで、使い捨てコンタクトレンズ「シードEye Coffret」のPRが行われた。

「新宿中央通路ハーフジャック+」は、新宿駅中央通路壁面に連続して大型サイズで掲出できるインパクトのあるメディアであり、新宿駅中央通路を1クライアントでジャックした今回の展開は、新宿駅利用者の関心を集めた。

展開期間は12月12日(月)から12月18日(日)まで。



新宿中央通路ハーフジャック+

**作業責任者安全講習会の開催**

平成28年度下期「作業責任者安全講習会」が2月21日(火)から24日(金)の4日間、池袋メトロポリタンプラザビル12階第1会議室で開催される。

この安全講習会は、「作業責任者としての任務及び誘導員等の任務の習得」を目的とした安全への取組み、教育指導の周知を図るもので、駅構内で作業を行なう広告会社関連の作業責任者だけでなく、駅構内で調査などを行なう社員等も対象とした幅広い講習会となっている。

現在、作業責任者に登録されている方も継続受講者として全員が受講することとなり、受講されなかった場合は、(作業責任者登録証)が失効となりますので注意して下さい。

※詳細は東京メディア・サービス  
設備管理部安全指導課  
(電話) 03・5391・1246

**会員名簿変更**

・代表者変更  
長田広告(株) (28年12月8日付)  
代表取締役 長田 一郎氏